

ProMED-mail情報 2018年 9月版

ProMED-mail <https://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介いたします。FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <https://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
29日	手足口病 ベトナム	ホーチミン市の小児病院で、過去4週間で500例を超える手足口病患者が発生。38例が重症で、1例は死亡。エンテロウイルス-A71に対する不活化ワクチンが認可されたのは中国のみで、他の国では認められなかった。現在のところ効果を証明された治療用の薬剤はない。
28日	黄熱 コンゴ共和国	コンゴ共和国は世界保健機構(WHO)と協力し、2018年9月26日よりポワントノワール市とその周辺で黄熱の拡大を防止するための予防接種運動を開始。生後9ヵ月からの100万人以上が、この6日間のキャンペーンで予防接種を受ける。今後数年で400万人以上が接種予定。
28日	E型肝炎 香港	香港大学は2018年9月27日、世界で初めてネズミのE型肝炎ウイルスに感染した都市部在住の56才男性について発表。この男性は2017年5月14日に肝移植を受けて、免疫抑制薬を投与されていた。
26日	鳥インフルエンザ (H7N3) 米国	米国農務省(USDA)当局は、カリフォルニア州のスタニスラウス郡の七面鳥の群れに低病原性 (H7N3) 鳥インフルエンザの2回目の流行を確認。1回目の流行の10km範囲内の鳥の処分は終了間近。
24日	マラリア スーダン	北ダルフール難民キャンプでマラリアが拡大。Abu Shouk、Tawila、Kassab、Fata BornoおよびKabkabiyaの収容所でも同様。
22日	クリミア・コンゴ出血熱 パキスタン	クリミア・コンゴ出血熱(CCHF)患者がジンナー大学院医療センターに入院し隔離中。これまでに14人が入院し、5人が死亡。
17日	レプトスピラ症 フィリピン	イロイロ郡のレプトスピラ感染者のほとんどは農夫であり、感染した動物の尿で汚染された水に浸かることにより感染。郡保健所の報告では1月以来、感染者88例、うち死亡が9例で前年比283%。
14日	炭疽 トルコ	保健機関はディヤルバキルでの共同会見で、東部ビトリス郡の10歳の子供が炭疽によって死亡したと発表。9月6日に炭疽菌が検出されてから一帯は検疫の監視下に置かれ、すべての牛に予防接種を行う予定。
12日	急性灰白髄炎 パプアニューギニア (PNG)	PNGでの急性灰白髄炎の流行は首都ポートモレスビーに到達。2000年に撲滅を宣言したが、2018年に主に幼い子供に10例の発生が確認。政府は首都で緊急予防接種キャンペーンを実施し、全国に拡大していく。
10日	A型肝炎 米国	2017年8月1日よりケンタッキー公衆衛生局(DPH)は1,628例の急性肝炎を同定。ホームレスや薬物患者から始まり、州は2017年11月に州全体での流行を宣言。DPHは、疾病管理予防センター(CDC)と地域の保健部門と緊密に連携し、保健専門家や高リスク集団に指導と教育を提供。
7日	ジフテリア ウクライナ	2018年に4例の発生が報告。専門家は流行の始まりではないかと警戒。以前にジフテリアの流行が記録されたのは1990年代で、合計2万人が感染し、約700人が死亡。腎臓、心臓、神経系に影響を及ぼし、治療が遅れば死に至る。防止する唯一の手段はワクチン接種。
5日	リーシュマニア症 ブラジル	2018年6月までに人間の内臓リーシュマニア(カラアザール)63例を報告。2017年は1年間で48例であり30%増。同時期に主要な保虫宿主である犬の感染例報告も増加。2017年、犬の内臓リーシュマニア報告は69例だが、2018年はすでに350例に到達。
4日	狂犬病 ミャンマー	2018年の8月までに狂犬病で18人が死亡。今年1月から7月にかけて計5,328人が病院の救急部で予防接種。昨年1年間で犬に咬まれた患者16,274人に接種したが、このうち32人は狂犬病で死亡。蔓延を防止するには飼い犬の狂犬病ワクチン接種と野犬の駆除が必要。
2日	ウエストナイル熱 欧州	2018年8月30日までに975例の感染者が確認。EU/EEA加盟国から710例、その近隣諸国から265例。前年度全体の感染者数の3.4倍。死亡者の合計は64例で、ここ6年間の発生数と大きな違いはない。